

潤いの森 11月

シャクチリソバ

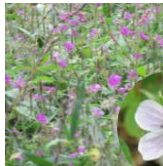
タデ科多年草
花期：8-11月



明治時代に輸入され帰化した植物です。全草に「ルチン」を含み血管強化の民間医薬として使われていました。ソバの近縁ですが、実は苦く食用には不向きです。

ゲンノショウコ

フウロソウ科多年草
開花期：7-11月



一番身近なフウロソウで、全草にタンニン的一种を含み、下痢止め漢方薬として重宝されてきた野草です。

サワフタギ

ハイノキ科落葉低木
実鑑賞期：10-11月



春に白い小花を咲かせるサワフタギの実は、光沢のある藍色です。味はあまりしませんが小動物や、メジロ、キビタキなどの野鳥は好んで食べるようです。

オニグルミ

クルミ科落葉高木
果期：9-11月



オニグルミは古くから食用とされており、縄文時代の遺跡からも殻が見つかっています。また、材木や薬用としても使用されています。

ホトトギス

ユリ科宿根草 花期：9-11月



ホトトギスは世界に20種ほど確認されていますが、そのうち11種は日本の固有種です。花弁にある紫の斑点模様を、野鳥のホトトギスの胸にある模様に見立ててホトトギスと名付けられたと言われています。

ルリタテハ

チョウ目タテハチョウ科
観察時期：3-12月



ルリタテハの幼虫はホトトギスやユリの葉を食草としています。幼虫はユニークで派手な姿をしている事もルリタテハの特徴のひとつです。

ビワとモンクロシャチホコ

ビワ科常緑高木 開花期：11-1月



ビワには、カロテンが豊富に含まれているため、高血圧や脳梗塞、心筋梗塞などの生活習慣病予防になると言われていますが、種子には天然の有害物質（シアン化合物）が含まれているので、注意が必要です。



モンクロシャチホコ

チョウ目シャチホコガ科
観察時期：7-8月



モンクロシャチホコの幼虫はビワの葉を食草としています。